

大学教育再生加速プログラム(AP) 中間評価結果

整理番号	70	大学等名	東京都市大学
テーマ	テーマV 卒業時における質保証の取組の強化		

【総括評価】

S：計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。

【コメント】

<優れている点>

- ・卒業までに身に付けた学修成果を客観的に社会に提示することを目的として、3つのポリシーの一体的見直しを行い、卒業時の到達レベルの能力指標の定義化も終えている。次の段階として学修成果の可視化の方法とそれを取りまとめたディプロマ・サプレメントの開発に着手しており、本取組の全体的な目的達成に期待でき、評価できる。
- ・3部門からなる教育開発機構を中心として本事業を運営しており、学長のリーダーシップの下、スピード感を持って各計画を遂行している。教職員に対しては、FDやSDの開催だけでなくニュースレターを発行して情報共有を図っていることから評価できる。また、自己点検・評価と外部評価も行っていることから、客観的なエビデンスに基づいたPDCAサイクルが機能するように実施体制が整備されていることも評価できる。
- ・各年度の計画に基づき、学内外の関係する組織とも連携を取りながら事業を遂行しており、それらをまとめた「年度別工程表」も非常に分かりやすく、今後の見通しも大いに期待でき、評価できる。また、大学が作成しているアクションプラン2030の一翼を担う取組として位置付けられており、補助期間終了後の継続性が見込まれる。
- ・本事業で得られた知見をWebサイトやシンポジウム、教育発表大会等で事例発表・公表する計画を有しており、同種の課題に取り組んでいる他大学にとっても大いに参考になると思われる。また、他大学の職員との合同SDも企画されており、評価できる。